

① 広報

# ふるどの



## 謹賀新年

2015  
No. 389

# 1

### ふるどの 1 Contents

- |    |         |    |           |
|----|---------|----|-----------|
| 2  | 年頭のあいさつ | 11 | みんなのひろば   |
| 4  | 官民連携調査  | 14 | くらしに役立つ情報 |
| 6  | 館報      | 16 | くらしのカレンダー |
| 10 | 町のできごと  |    |           |

～2015年～

# 年頭のごあいさつ



## 子どもたちの未来のために



町長 岡部 徳光

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、穏やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、経済面では、4月に消費税が8%に引き上げられた影響で、いったん冷え込んだ景気がなかなか回復せず、さらなる10%への引き上げが延期されるという一方、平成32年の東京オリンピックの開催に向け、都市部でのインフラ整備が本格化し、建設資材の高騰や地方での人材不足など、新たな課題が顕在化した1年でありました。

また、農業を取り巻く情勢は、平成26年産米概算金の大幅下落やTPP交渉の行方などますます厳しい環境となっており、日本の農業、特に中山間地域での農業の衰退に歯止めをかけ、将来への希望を取り戻すような抜本的な対応が求められるところです。

こうした中であって、古殿町では、昨年4月に幼保一体化施設の「ふるどのこども園」がオープンし、「林業の町ふるどの」にふさわしい木の魅力あふれる園舎では、毎日、子どもたちの元気で明るい笑い声が絶えません。

新年度からは、子ども・子育て支援新制度がスタートします。将来を担う子どもたちが健やかに成長することができるよう子育て支援、保育・教育環境の更なる充実を図ってまいりたいと思います。

さて、東日本大震災から4年が経過しようとしております。

これまで、町民の皆様をはじめ、多くの関係者のご支援・ご協力をいただきながら復旧・復興を進めてまいりましたが、おかげをもちまして、町内においては一定の落ち着きを取り戻すことができました。今年こそ完全に払しょくされるよう、しっかりと取り組

依然として心配される農作物をはじめとした風評被害の影響ですが、今年こそ完全に払しょくされるよう、しっかりと取り組む所存です。

ふるさと古殿に暮らす子どもたちをはじめ、すべての町民の皆様未来に向け、「緑と人が響きあうぬくもりのあるまち・ふるどの」の実現にまい進してまいります。

町民の皆様におかれましては、引き続き町勢伸展に向けて、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、平成27年が輝かしい1年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

# 住民主体の地域創生

古殿町議会議長

鈴木 昭生



2015年の新春を、町民の皆様には、穏やかに迎えたいと心からお慶び申し上げます。

今年には戦後70年目となる節目の年でありますが、近年地球の温暖化が原因とされる異常豪雨や昨年の御嶽山火山災害など、多くの自然災害が発生し、東日本大震災の記憶も風化するなか、国内経済は足踏み状態とされ、政府が発表する各種経済指標などおりの感覚が実感できない状況にあります。

税金や社会保険料などの国民負担率が年々上昇し続けるとともに、集団的自衛権の行使容認や特定秘密保護法の制定など、国の基本構造も変化してきております。

こうした社会変化や経済格差の拡大とともに、新たな社会秩序が模索されているなか、福島県の復興は原発事故の影響もあり、復興住宅の建設を始め、他の被災県より遅れているとされ、今もなお12万人にもおよぶ避難者が各地で避難生活を続けております。風評被害対策や中間貯蔵施設の建設・運搬など新知事には、新しい視点と工夫による指導力を期待するものであります。

国家として人口減少社会を迎えるなか、政府も地方創生を行うとしておりますが、中身は定まっております。地方の活性化は国政が主導して地方に指示するものではなく、地域の特徴、人や産業、歴史風土、地理、気候などの地域資源を地域自身が発見し、組み合わせることで生かしていくかであると思えます。

町づくりの主役である町民の皆様が、自ら考え責任と確信をもって健やかに安心して暮らせる町づくりを進めるため、議会もその実現に向け努力してまいります。

本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年の挨拶といたします。

# 教育の一層の充実・発展を

古殿町教育委員長

鈴木 茂



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様にはお健やかに新春を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は教育行政に対し深いご理解とご支援を賜りありがとうございました。皆様と共に進めて参りました幼保一体施設も昨年4月に開所され、本年4月から認定こども園として、新たにスタート致します。近年の少子高齢化の進行や、家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、多様化するニーズに柔軟かつ適切に対応するため、就学前のこどもに関する教育、保育等の充実を図るものであります。

また、小中学校の連携教育につきましては、「理数教育を充実させるため一貫性や円滑な接続の観点から指導内容の充実を努める」との学校教育目標を重点努力目標として実践されているところであります。今後とも幼小中連携教育の進展のための環境の整備、さらには環境作りに努力を重ねて参ります。

結びに、教育行政全般にわたりましては町民の皆様からご意見を賜りながら、本年も教育の一層の充実・発展を図るよう努めて参ります。何卒、今後とも町教育行政に対するご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご益々のご多幸ご健勝をご祈念申し上げます。新年のごあいさつと致します。

# 希望の年に

東京ふるどの会会長

鈴木 驍



あけましておめでとうございます。

古殿町の皆様、東京ふるどの会の皆様にはおすこやかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は昨年3月にいわき市を、6月に広野・富岡・大熊町を見学、各町長さんから地震・津波・原子力等被害につき話を聞く機会を得、11月に川俣町・南相馬・相馬市を見学、相馬市産業課長に地震、当日津波の状況等、現在の復興状況を現地で説明をうけ、伊達市では新種の柿を賞味し、県知事公舎を表敬訪問、交通遺児基金を贈呈し、知事は上京中で藤島理事が面会し、福島県の現状等説明、特に福島県産物産品の風評被害による販売下落が一番の被害とのことでした。

車窓から、雪化粧した安達太良山が見送ってくれました。今年こそこれらの問題を解決し、復興に全力を傾注し、福島県共ども、古殿町の発展を目指さなければなりません。

東京ふるどの会も、町の発展をお祈りして、希望の年になるよう、頑張っております。

## 「安全・安心でおいしい地下水サミット」



「い〜(1)井(1)戸(10)の日」にちなんだ11月10日、「安全・安心でおいしい地下水サミット」(安全・安心でおいしい地下水連絡協議会主催)が古殿町勤労者体育センターで開催されました。

古殿町出身の野崎洋光さん(日本料理「分とく山」総料理長・2004年アテネ五輪日本代表野球チーム総料理長)による「日本料理における水」と題した基調講演や福島大学柴崎直明教授による「福島の湧水と地下水を守り活用する取り組み」についての事例発表の後、川内村の遠藤雄幸村長による「川内村の現状と課題」についての特別報告が行われました。

その後、北海道東川町、福島県内の小野町・葛尾村・鮫川村・平田村・古殿町・川内村、千葉県芝山町、愛媛県西条市の市町村長が参加するサミットが開催され、各地の地下水利用の実態、地下水利用の課題・問題点などが報告されました。



野崎洋光さんによる基調講演

## 官民連携調査

11月28日、日本大学工学部建築学科の浦部智義研究室による官民連携調査業務「観光・地域資源を活かした町づくり提案」に関する研究報告が古殿町役場で行われました。

浦部研究室はまず、古殿町の特徴を調べ「三株山」、「御斉所街道」、「憩いの森周辺」、「役場周辺」、「大網庵周辺」の5つに着目したテーマを決め、町づくりの提案をしました。

大学生たちは提案の発表後、聴講された町の住民と意見交換をし、魅力ある町づくりについて話しました。



# 古小だより



路上を疾走 中学年

## ◇2学期最後の授業参観◇

12月5日(金)授業参観を行い、落ち着いて授業をしている様子や成長の姿を見てもらいました。

## ◇学校自由参観(祖父母参観・持久走記録会)◇

11月5日(水)～7日(金)の学校自由参観では、1日目に祖父母参観を行い、多くの方の参観をいただきました。

3日目の7日(金)は、持久走記録会を行いました。道沿いには応援に駆けつけてくださった家族の方々でいっぱいでした。天候に恵まれ、子どもたちは日頃の練習以上にがんばって走っていました。

## ◇図画の成果も◇

8日(土)・9日(日)の2日間、石川小学校体育館に地区児童図画作品展で賞を受けた作品が展示されました。古殿小の子どもたちの作品がたくさんありました。17日(月)は、町防犯ポスターコンクール表彰授与が校長室でありました。



低学年 スタート



力強い走り 高学年



中身の濃い考えと質問がでる授業

## ◇質の高い授業へ◇

12日(水)町幼小中連携協議会による授業研究会が本校で行われ、1年2組、4年2組、5年2組の3学級で算数の授業を公開しました。どの学級でも子どもたちが真剣に課題に取り組み、意欲的に発表する姿を見せていました。

## ◇様々な体験学習で◇

11月は体験学習を盛んに行いました。

4年生は、福島民報の移動教室での「新聞作り」や山上地区で行われている「道路工事」を見学し、5年生はいわきの日産工場で「くるま作り」を見学しました。

## 古殿町公共工事等の入札結果

「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、町発注工事の入札結果(250万円以上)を公表します。

工事等の名称	工事等場所	工事等量	請負額(円)	工期	請負業者名
古殿町簡易水道事業 鎌田地内配水本管布設工事	鎌田字田中田 地内	配水本管布設工 L=88.88m	12,290,400	27.3.31	(有)古殿工業 代表取締役 鈴木 義三
道路改良工事(町単) 町道才竜内石神線(第2回)	松川字前木 地内	改良工 L=48.0m 土工 切土 V=2674.4m <sup>3</sup>	15,822,000	27.3.31	(有)鈴木工業 代表取締役 鈴木 清樹

# 押し花で年賀状を ～寿大学～

▶手先を使って彩りよく飾り付け



寿大学では、12月10日、大学生24人が参加し、石川町で押し花や生け花の教室を主宰されている西川道子さんの指導のもと、押し花の年賀状を作成しました。

あらかじめ年賀の言葉を書き込んだはがきをひとり3枚ずつ用意し、色鮮やかな押し花で模様をつけていきました。力作ぞろいの年賀状。出すのも、もらうのも楽しみになりました。



手間をかけて押し花を作ります

シニア学級では、籐で作るクリスマスリース作りに挑戦しました。矢内文子さん（石川町）の指導のもと、参加した学級生25人は初めての作業に戸惑いながらも、籐を水に浸しながら少しずつ丸めていきました。それをリースの土台にし、そこにキラキラしたモールや松ぼっくりなどで飾りつけました。すてきな出来栄えに、参加者も満足した一日となりました。



▲おしゃれなリースになりました。

## クリスマスリース作りに挑戦!

シニア学級



押し花の年賀状を送ります(寿学級)

館報

# ふるどろ

furudono

第678号

(平成27年1月号)

《3つの運動》

1. 時間を守りましょう
2. 自然を大切にしましょう
3. あいさつをしましょう

編集 古殿町公民館

電話 53 - 2305

FAX 53 - 2500

# 歴史教室

## 町外研修

11月27日、歴史教室生14人は、福島県立博物館を訪れ、東日本大震災復興を祈念して開かれた特別展、「みちのくの観音さま」人に寄り添うみほとけ展」を見学しました。東北各地の観音様を一同に見ることができた貴重な機会でした。秘仏としての棚倉町の観音様も展示され、初めて拝見することができました。

また博物館学芸員の方に、観音様の特徴や言葉などについて説明をしていただき、より理解を深めることができた一日でした。



県立博物館にて

# 着物着付け教室



町公民館では、今年で3回目となる着物着付け教室を開催しました。講師に渡辺幸子さん(下山)を迎え、11月28日、12月5日、12日に実施しました。

基本の着方のコツなどをおさらいしながら、二重太鼓の結び方を習いました。

手が慣れるまでには少し時間がかかりましたが、教えてもらった通りに手が動く、形良い帯結びができました。

また参加者のリクエストで、半襟のつけ方も習いました。

できるようになる楽しさが感じられた教室となりました。



# 英会話教室

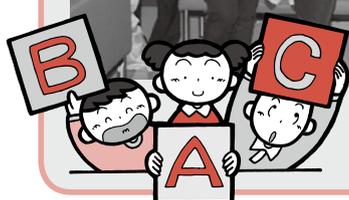
## クリスマスバージョン

12月10日に行われた英会話教室では、低学年と高学年18人が参加した合同授業となりました。後期は、これまで低学年(1〜3年生)と、高学年(4〜6年生)に分かれての授業を行っていましたが、最後となる今回は、クリスマスにちなんだゲームなどをしながら楽しく過ごしました。

また、公民館ロビーにあるモミのクリスマスツリーの前で記念撮影もしました。少し早いクリスマス気分となりました。



クリスマスツリーの下で



## 第2回 石川コン開催!

石川地方町村広域連携事業の第2回石川コンが、12月7日、母畑温泉八幡屋（石川町）で開催されました。

開会式では、町村会長である石森春男玉川村長が参加者にエールを込めた挨拶をしました。

今回は男性71人、女性36人が参加し、お笑いグループ「みちのくボンガーズ」のナビゲート、サポートで、自己紹介しあったり、コミュニケーションを図ったりしました。その間、お笑いライブもはさみ、会場が和んだところでカップリングタイム。カップリングカードを集計した結果、見事に20組のカップルが成立しました。



開会式

### 今月の図書

#### サムさんと10ぴきのひつじ

文：ミジ・ケリー

絵：ラッセル・エイト  
訳：まえざわ あきこ



あ、数えてみよう。

あらしの夜に扉をたたく音。サムさんの10ぴきのひつじは無事でしょうか？さ

#### ひつじぱん

作・絵：あきやま ただし

ひつじのぱんやさんは、毎日いろんなパンを焼いています。さて、今日はどんなパン？どんなお客さんがくるのかな？



#### ブータンの笑顔

写真・文：関 健作

ブータンで体育を教えた！海外青年協力隊に参加した作者は、3年間の教師として過ごしました。教え



ながら、自分も言葉や習慣を学ぶうち、地域に溶け込みます。いちブータン人として過ごした時間の中で見つけた、ブータン人の「幸せ」とは？

#### 女の本音で言わせて、

#### これぞ男の総仕上げ

著：おち とよこ



仕事から解放された人生のボーナスともいうべき「第二の人生」。充実させるための27の作法と、す

ぐに始められる45の実践法。女性の目線からのアドバイスです。

#### 窓から逃げた100歳老人

著：ヨナス・ヨナソン

訳：柳瀬 尚紀



100歳の誕生日パーティの当日、アラン・カールソンは老人ホームの窓から脱走した。なりゆきで盗んでしまった、ギャングの大金。追っては増えるが、アランはどこ吹く風。過去に数々の修羅場をくぐり抜けてきた100歳老人。アランの逃避行と歴史的大事件がからんでいくコメディタッチの小説です。